

## トランスクリプト記号一覧・配置図

記号の説明 以下に示すものは、この報告書のトランスクリプトで用いられている記号である。これ以外の記号が用いられている場合は、その都度当該トランスクリプトにおいて、必要に応じてその意味が記されている。

／／ 複数行の同じ列におかれた二重スラッシュ：参加者たちの言葉の重なりが始まる個所を示す。

= 言葉と言葉の間、もしくは行末と行頭におかれた等号：途切れなく言葉がつながっていることを示す。

( ) 丸括弧：何か言葉が発せられているが、聞き取り不可能であることを示す。また聞き取りが確定できない場合は、当該文字列が丸括弧で括られる。

(数字) 丸括弧で括られた数字：その数字の秒数だけ沈黙のあることを示す。また、0.2秒以下の短い間合いは「( )」という記号で示される。

: コロンの列：直前の音が延ばされていることを示す。

- ハイフン：直前の言葉が不完全なまま途切れていることを示す。

[ ] すみつき括弧：参加者の発話以外の諸行動の一部を示す。

h h h h の列：呼気音を示す。

| | | 各発話の上におかれた同一文字の列：その文字（I）で示された特定の事物もしくは、人物に視線もしくは顔が向けられていることを示す。

... ピリオドの列：動作が始まりかけていることを示す

, , , , カンマの列：動作が終わりかけていることを示す。

n o d : 頷きを示す。

# 障害者スポーツにおける相互行為分析

—平成11年度徳島大学総合科学部社会調査実習報告書—

2000年2月1日発行

編集 榎田美雄

発行 徳島大学総合科学部人間社会学科国際社会文化研究コース  
現代国際社会分野『社会調査実習報告書』刊行プロジェクト

〒770-8502

徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地

☎(088)-656-9308 (榎田研究室)